

UBC海外教育研修報告 16 (2016 年 3 月 19 日)

工学部・機械工学科・2年

S.T

今回の海外研修で、ホームステイ先や大学、街に出たときの「言葉によるコミュニケーションの難しさ」を体験しました。ジェスチャーや他の人達の助けなどでなんとかあったものの、英語がうまく喋れず、相手に自分の気持ちを伝えられないことが何度もありました。

また、日本との「文化の違い」にも驚きました。例えば、バス停に来るバスの時間が常に同じじゃないことや、雨が降っているのに傘をさす人が少ないことなど。小雨ならまだしも、かなり強い雨でもフードを被り、傘をささない人がたくさんいたことに特に驚きを感じました。日本ではあまり目にするとこのない光景でした。

今回の海外研修を通して、大きく視野が広がったと感じられるように、残り2週間頑張りたいと思います。



UBC海外教育研修報告 17 (2016 年 3 月 19 日)

総合情報学部・情報学科・2年

K.H

海外語学研修が始まって3週間が経ちました。最初は右も左もわからない状態で、水道水を飲んでしまった時はどうなるかと思いましたが、正露丸の力で解決。滞在先のご家族にも危険な場所など様々なことを教えていただき、今は安心して滞在ができています。

平日は学校と家の往復で、休日と金曜日にはダウンタウンで買い物をしたりしています。新しく面白い物を探していると、今回「メープルバター」という聞きなれないものを発見。トーストに付けて焼くととても美味しいと店員さんにおすすめされました。瓶とチューブの入れ物があり、さほど値段は変わらなかったのですが、飛行機で運ぶことを考えるとチューブの方が良いだろうと思い、そちらを購入。商品の説明をしてくれた女性店員は片言でも4か国語を話せるのだとか。楽しんでいる面もあるみたいでしたが、ユーモアも欠かさない素晴らしい経営努力だと思いました。

語学研修も残り1週間と少しです。最後の休日に悔いが残らないようにバンクーバーを満喫したいと思います。



UBC海外教育研修報告 18 (2016 年 3 月 19 日)

情報通信学部・通信工学科・2年

Y.T

今回は初の海外、初のホームステイということもあり、自身の英語がどこまで通用するのかが分からず不安でした。けれども、ホームステイ先の家族は、私たちを温かく迎え入れてくれました。分からないことがあれば、分かりやすいように話してくれたり、困っていることがあれば心配してくれたり。最初は家族が話す英語のスピードが速すぎて何を言っているのか聞き取れず、戸惑うことが多々あり大変でした。しかし嬉しいことに、徐々に相手の話していることが理解でき、会話が成り立っていって行くようになりました。

コミュニケーションがとれるようになったことで、ホームステイ先の人達との交流も増えてきました。ときには彼らの子供達の相手をしなければならぬこともあり、そのときは話すスピードに困りました。大人とは違うため、ゆっくり話して欲しいとも言えず戸惑いましたが、不思議と何回も聞いていると耳が慣れていきました。まだあやふやなときもありますが、話しかけられても、少しは返せるようにはなっています。ただ、親戚が来る時は緊張で言葉が片言になります。

後 12 日位でホームステイも終わりますが、この経験は私の中で貴重なものになるに違いありません。この経験を生かして頑張っていきたいと思います。

